

JTU-HYOGO
兵庫高等学校教職員組合
日本教職員組合(日教組)

兵高教新聞

裏面紹介
◇ 第34回人権教育実践交流集会
◇ 2025年度採用試験対策講座案内 他

神戸市中央区中山手通 4-10-5 神戸市教育会館内 TEL078-261-0829 FAX078-261-1094 E-mail:hyokokyo@pearl.ocn.ne.jp 発行人:西村恭介 編集人:兵高教書記局

日教組第168回中央委員会開催

実効ある「学校の働き方改革」を求める特別決議

学校の働き方改革の推進と教員の処遇改善をはかるとして、給特法等の一部改正法案が国会に提出され、これから山場を迎えようとしている。

法案では、学校の働き方改革について、「業務の3分類」をはじめ実行は自治体任せとなっている。確実な推進のためには、教職員定数改善とスタッフ職の拡充を含めた、国による財源や人の配置が不可欠である。また、業務削減につながる部活動の地域移行や、学習指導要領の内容の精選や標準授業時数削減などについて、国の責任において行うべきである。あわせて、上限時間超えへの歯止めや、安全配慮義務・健康確保措置の徹底を含めた、労働基準監督機能が働く仕組みの構築が必要である。

処遇改善として、教職調整額の段階的増率、学級担任への義務特手当の加算や新しい職を創設するなどとしている。これらによって働き方が変わるわけではない。学校現場が切に求めているのは長時間労働は正である。

給特法については、前回の法改正において課題は明確にされていることから、廃止・抜本的見直しの議論を加速すべきである。

日教組では、全国連帯での街宣行動や世論に訴える集会など、『今、学校が大ピンチ!』現場の声を届けよう!キャンペーンを展開している。国会での議論に現場の声を寄せ、現場が必要としている学校の働き方改革が推進されるよう、実効性ある施策を勝ち取らなければならない。

日教組は、子どもたちのゆたかな学びの保障と教職員のいのちと健康を守るため、組合員一人ひとりの思いを結集し、組織の総力をあげてとりくみを強化していく。

以上、決議する。

2025年3月14日

日本教職員組合 第168回中央委員会

3月14日(金)、日本教育会館において日教組第168回中央委員会が開催され、兵高教からは西村執行委員長が中央委員として出席しました。全国各地から中央委員116人が参加し、活発な議論が交わされ、現下の諸課題を共有しとりくみの意思統一を図りました。

会の冒頭、梶原中央執行委員長のあいさつの最初に、出席者全員で大船渡の森林火災、能登半島地震・豪雨、さらには3月11日で14年を迎えた東日本大震災等で犠牲になられたすべての方々への黙とうを捧げました。

その後のあいさつの中では「日教組内のジェンダー平等推進において、次期定期大会代議員の女性参画率50%を目標としているが、本委員会の参画率は目標を達することができなかった。女性組合員が55.4%を占める中、最高の意思決定機関である定期大会の代議員に女性が50%参加することは当然である」として、本部としても引き続きとりくんでいく決意と、単組の格段の理解と協力を求めました。また、阪神淡路大震災から30年の節目に当たり、防災・減災教育のとりくみの継続を訴えました。

続いて、第74次全国教研京浜大会の開催単組・開催ブロックへのお礼とともに、平和のとりくみを次世代につなぐこと、多文化共生社会やインクルーシブ教育の重要性、ヘイトやレイシズムを許さず、地域とともにそれらを超えていく「教育の強さ」を改めて学ぶ場になったことを述べました。さらに、石川一雄さんのご逝去にふれ、差別や偏見を許さないとりくみの継続を訴えました。

国会情勢については、高校授業料無償化が政争の具とされ、十分な審議がなされないまま衆議院を通過し大きな問題をほらんだまま進んでいること、特に26年度の私学を含めた無償化について、朝鮮学校が適用除外されている件も含めて、具体の制度設計にむけて意見反映をしていかなければならないことを確認しました。今後、審議が予定されている教員の働き方改革に係る給特法の改正をはじめとする束ね法案においては、予算措置や罰則がなく、働き方改革への実効性に乏しい内容となっており、現場実態を変えようとする「本気度」が感じられない

いと指摘しました。また処遇改善としては、教職調整額の段階的引上げ、「新たな職」の新設、義務特手当の改変等が盛り込まれており、極めて慎重な審議が必要であるとなりました。今回の法改正は、中身も不十分であることに加えて、人材確保法の立法趣旨からも逸脱する内容と言わざるを得ず、十分な審議時間を確保するよう、日政連と連携し、給特法の廃止・抜本的見直しにつながる審議にいくことを訴えました。

また、次期学習指導要領策定にむけた議論において、「カリキュラムオーバード」の是正や部活動の「地域移行」においても確実に意見反映できるように注力し、現場が実感する働き方改革の実現にむけて、引き続き業務削減・人員増・給特法の廃止・抜本的見直しの三本柱を求めていくと述べました。

世界では、平和・外交・経済・気候対策・人権等あらゆる分野において国際協調や国際秩序が揺らんでいる現状にも触れ、「力による現状変更は認めない」ことを共有することや対話と外交による和平の実現が必要だと述べ、これらのさまざまな課題をふまえ、「今こそ教育の力が必要である。日教組が大切にしてきた平和・人権・環境・共生の運動の原点に立ち返り、教育の力で平和で民主的な社会をつくらなければならない」と訴え、そのために、日教組の重点方針である組織拡大・強化が欠かせないとし、全単組でとりくんでいこうと訴えました。

最後に、教育をめぐる様々な課題の解決を進めるためには「教育の議席」に日政連議員の役割が極めて重要であることを確認し、4か月後に迫った参議院選挙では、みずおか俊一候補予定者(比例代表)、勝部けんじ候補予定者(北海道選挙区)、小島とも子候補予定者(三重県選挙区)3人の必勝を期してとりくもうと締めくくりました。

討論では、教研活動や学習会を通じた組織拡大のとりくみの成果や、教員不足の実態、病休者や離職者が増えている現状、学校の働き方改革、女性参画・ジェンダー平等、日政連議員の重要性などについて全国の参加者から報告されました。

兵庫高等学校教職員組合(兵高教)は、《JTU日教組》加盟の組合で、1989年に設立しました。
※「兵庫高教組」「兵高教組」「高教組」(兵庫県高等学校教職員組合)とは、関係ありません。

EI LGBTI+国内ネットワークに参加して国内、世界のなかまとつながりましょう!

- ✓国内でなかまとつながり、情報交換などの場をもちます。
- ✓教育インターナショナル[※]の会議に参加し、日本に関して発信し、世界の動きを持ち帰ります。
- ✓必要に応じて他部局と連携し、ネットワークの声を省庁要請に反映します。
- ✓アライの方については、今後、別の形でネットワークへ呼びかけを検討しています。

参加申し込みはこちらから→



♥安心して下さい◎

参加申し込みは、直接JTUが管理します。JTU以外には知らせたくない意向がある場合は、人権問題としてアウトティングの課題を最優先にとりくみます。

まだ組合に加入していない方でも参加できます。

担当: 日本教職員組合 国際部 寺澤、内田

terazawa_tamaki@jtu-net.or.jp <tel:03-33265-2191>

※教育インターナショナル(EI)は、教職員組合の国際的な連合体であり、180の国・地域にある約400の教職員組合が加盟し、組合員数は約3,300万人に達します。そのとりくみは、質の高い教育の保障、教職員の権利の実現、そして、平等な社会の実現を三本柱とし、各種国際機関と連携しています。EIでは、人権問題としてLGBTI+の課題を柱のひとつとしてとりくんでいます。ネットワークによる情報共有などオンラインでの交流のほか、EI世界総会の前段ミーティングとしてLGBTI+コーカスの開催、PSIとの共催によるLGBTI+会議、ワールドプライドへの参加といった国際会議・行事への参加も行っていきます。



日教組第34回人権教育実践交流集会

2月22日(土)~23日(日)、富山市で日教組第34回人権教育実践交流集会が開催され、全国から約170人が参加しました。

1日目

【全体会】

開会あいさつ、基調報告の後、「ふたつの災害と人権」というテーマで元石川県内の中学校教員で現在石川県珠洲市議会議員の浦秀一さんの講演を聴きました。

昨年の震災と豪雨災害の被害を受けた珠洲市の現状について、数多くのスライドを用いてご自身の体験、とりくみ、課題等について詳細にお話ししていただきました。



【分科会】

①憲法・子どもの権利条約と人権教育、②部落問題学習のとりくみ、③ジェンダーと人権教育、④インクルーシブ教育の4つの分科会で実践に基づく問題提起をもとに討議を深めました。

2日目

【フィールドワーク】

「富山大空襲」と「イタイタイ病」の2つのコースに分かれてフィールドワークを行いました。「富山大空襲」コースでは、富山大空襲を語り継ぐ会(以下語り継ぐ会)の西田亜希代さんから富山大空襲の背景や実相について50分程度説明していただいたのち、多くの被災者が逃げ込んでなくなった神通川河川敷(富山中部高校裏)、戦災復興記念像(富山城址公園内)をバスで巡りました。バス内では語り継ぐ会の柴田恵美子さんが当時の様子を解説していただきました。富山では戦災遺構の保存がほとんどなされておらず、資料館もない状態で、語り継ぎの重要性を痛感しました。

兵高教 2025年度 臨採者学習会

教員採用試験対策講座

- 第1回 4月5日(土) 「出願準備を始めよう!
- 第2回 4月19日(土) 「出願書類記入のポイント、他」
- 第3回 5月10日(土) 「兵庫の教育について、他」
- 第4回 6月7日(土) 「集団面接練習、筆記試験に向けて」
- 第5回 7月5日(土) 「一次試験・個別面接に向けて」
- 第6回 8月2日(土) 「模擬授業・個別面接に向けて」
- 第7回 2月14日(土) 「総括、次年度に向けて」

☆出願から面接・模擬授業までトータルでサポートします。
二次試験での合格率約90%
(2021~24平均、条件付合格含む)
☆参加費 500円
(第1回・第2回および第7回は無料)
※組合員(当日加入も含む)はすべて無料
☆下記二次元コードより、電話かメールでお気軽にお問い合わせください。

合格者の声

- 学習会を通して、自分の中で「軸」をつくることができました。本番の面接で何を質問されても動じませんでした。
- 教員として何が必要であるかを深く考えることができました。
- 自分自身を見つめなおすことができました。
- 同じ目標に向かって頑張っている仲間とともに学ぶことによって、モチベーションの維持・向上が図れました。
- 教員採用試験に関する情報を適切に入手することができました。

会場: 神戸市教育会館



兵庫高等学校教職員組合(兵高教)

神戸市中央区中山手通4-10-5 神戸市教育会館
TEL 078-261-0829 Mail hyokokyo@pearl.ocn.ne.jp



2025年度

第1回臨採者学習会 -採用試験対策講座(1)-

4月5日(土)13:30~16:30 神戸市教育会館 403

【内容】

- ★ひょうごの教育 「第4期ひょうご教育創造プラン」について など
- ★今日の教育課題 「インクルーシブ教育」について など
- ★出願に向けて

◆どなたでもご参加いただけます(参加費無料)。参加希望の方は、できるだけ前日までに電話/メールでご連絡ください。

お問い合わせは、兵高教書記局まで JTU
兵庫高等学校教職員組合
神戸市中央区中山手通4-10-5
神戸市教育会館5階
TEL 078-261-0829
FAX 078-261-1094
hyokokyo@pearl.ocn.ne.jp



※兵庫県の採用試験の傾向・特徴をふまえた的確な学習ができます。受験予定のみなさんはぜひご参加ください。職場のなかまへの周知をお願いします。

しゅんいち
みずおか俊一
教育、くらし、平和
希望ある未来を子どもたちに!



「選択的夫婦別姓制度導入の民法改正を求める請願」署名にご協力をお願いします

2024年10月、国連女性差別撤廃委員会から選択的夫婦別姓制度導入を求める4度めの勧告が行われ、経団連からも選択的夫婦別姓制度の早期実現を求める提言がありました。

夫婦別姓を望む人の選択の自由と個人のアイデンティティを守るためにも、「選択的夫婦別姓制度導入の民法改正を求める請願」署名へのご協力をお願いします。

※署名用紙は各分会に発送しています。5/16(金)までに書記局にご提出ください。

兵高教は、子どもたちの学びと教職員の生活に関わる情報を、迅速かつ正確にお届けします。